

2005年業績集収録文献

- (1) 所 高利・岩崎 順 (2005); ALC標識を用いた鹿島灘はまぐり放流技術開発事例．平成17年度東北ブロック水産業関係試験研究推進会議海区水産業部会・分科会報告書，17-20.
- (2) 柳田 洋一・大塚 正人 (2005); 茨城県鹿島地域における沿岸漁家の兼業構造について，操業タイプと兼業形態による類型化．海洋水産エンジニアリング，2005年3月号，7-17.
- (3) 柳田 洋一・大塚 正人 (2005); 茨城県鹿島地域における沿岸漁家の兼業構造について，漁家の兼業構造とライフサイクル．海洋水産エンジニアリング，2005年4月号，5-13.
- (4) 二平 章 (2005); レジームシフトにともなう底魚類の資源変動とその管理．青木一郎ほか編，レジームシフトと水産資源管理，24-36，東京，恒星社厚生閣，143pp.
- (5) 二平 章 (2005); 黒潮の子カツオ，その生態と資源．日本人はなぜかつおを食べてきたのか，4-12，東京，味の素の文化センター，175pp.
- (6) 二平 章 (2005); カツオの回遊生態学，その1，繁栄の秘密をさぐる．日本人とさかな，2005年冬号，65-72.
- (7) 二平 章 (2005); カツオの回遊生態学，その2，標識放流で追う回遊の不思議．日本人とさかな，2005年春号，69-74.
- (8) 二平 章 (2005); カツオの回遊生態学，その3，体温から見た回遊メカニズム．日本人とさかな，2005年夏号，64-73.
- (9) 二平 章 (2005); カツオの回遊生態学，その4，黒潮源流域におけるカツオ資源の減少と管理．日本人とさかな，2005年秋号，65-71.
- (10) 二平 章 (2005); 地域再生と海・魚・漁業 (上)．漁業と漁協，43(6)，19-23.
- (11) 二平 章 (2005); 地域再生と海・魚・漁業 (中)．漁業と漁協，43(7)，15-19.
- (12) 二平 章 (2005); 地域再生と海・魚・漁業 (下)．漁業と漁協，43(9)，18-22.
- (13) 高橋 正和・渡邊 直樹・黒山 忠明・岡部 勤 (2005); 茨城県沖におけるボタンエビの季節変動と漁獲変動，平成17年水産海洋学会講演要旨集，p72.
- (14) 黒山 忠明・齋藤 誠一・二平 章 (2005); リモートセンシングを用いた鹿島灘におけるシラス来遊水準の変動要因解析，平成17年水産海洋学会講演要旨集，p73.
- (15) 二平 章 (2005); 太平洋北部および日本海北部海域における底魚資源の十年スケール変動，平成17年日本水産学会東北・北海道合同支部大会講演要旨集，p15.
- (16) 二平 章 (2005); 東北海域における底魚類の資源変動と管理，2005年度日本水産学会大会講演要旨集，352.
- (17) 二平 章 (2005); 北太平洋の気候変動と底魚類資源の応答，水圏生態研究談話会講演要旨 (2005.11.12 ワークプラザ勝田).
- (18) 二平 章 (2005); 北太平洋の気候変動と底魚類資源の応答．シンポジウム「地域スケールの地球温暖化と異常気象 - モデリングと影響評価 - 」講演要旨集，24-27.
- (19) 二平 章 (2005); 黒潮源流域におけるカツオ漁獲量の減少，平成16年度カツオ資源会

議報告, 133, 2005.

- (20)茨城県(2005);平成16年度 水産資源増殖ブランド・ニッポン推進対策事業栽培漁業関係技術開発事業(魚類Aグループ)報告書.茨城1-16.
- (21)茨城県水産試験場(2005);平成16年度 水産基盤整備(大型魚礁・人工礁・広域型増殖場設置)事業調査報告書.22pp.
- (22)茨城県(2005);平成16年度 漁場環境保全推進事業調査報告書(海面).52pp.
- (23)茨城県水産試験場(2005);茨水試加工たより.第75・76号,12pp.

2004年以前の未収録業績

- (1)星野 尚重・小松 伸行・岩崎 順(2004);ムラソイ放流技術開発におけるDNA分析の可能性.平成16年度東北ブロック水産業関係試験研究推進会議海区水産業部会・分科会報告書.26-30.
- (2)二平 章(2004);カツオの回遊行動と黒潮前線.杉本 隆成編,海流と生物資源,245-253,成山堂書店.
- (3)二平 章(2004);漁協の合併論議と協同組合運動.月刊漁協経営 No.498,15-17.
- (4)二平 章(2004);本州太平洋北部および日本海北部における底魚類の資源変動.水産海洋シンポジウム「1998年に日本周辺でレジームシフトは起こったか?」講演要旨集,34-35.
- (5)Akira Nihira and Masakazu Takahashi(2004);Decadal variations of demersal fish populations in relation to climate/oceanic regime shifts in the waters off the northeast coast of Japan,North Pacific Marine Science Organization Thirteenth Annual Meeting Program Abstracts, Hawaii USA.
- (6)Akira,Nihira(2004);Community Based Managements of Shell Dredge Net Fisheries by the 4 Fisheries Cooperative Associations in Kashimanada, Eastern Japan, Book of Abstracts of the Twelfth Biennial Conference of the International Institute of Fisheries Economics and Trade.77.
- (7)Akira Nihira (2004);Management of Japanese Flounder Fishing by Fisheries Cooperative Associations and the Assistance of Local Government in Ibaraki Prefecture,Japan, Book of Abstracts of the Twelfth Biennial Conference of the International Institute of Fisheries Economics and Trade.79.
- (8)Akira Nihira(2004);The Establishment of a Computer Network System to Collect Detailed Catch Data of Coastal Fisheries and Its Utilization in Ibaraki Prefecture Japan , Book of Abstracts of the Twelfth Biennial Conference of the International Institute of Fisheries Economics and Trade.215.
- (9)二平 章(2003);放流ヒラメとのつきあい20年.さいばい, No.107,日本栽培漁業協会,36.